

# 武蔵野市男女共同参画フォーラム 2024

## むさしのからジェンダー平等を



開催日: 令和6年6月14日～6月30日

会場: 武蔵野スイングホール・武蔵野プレイス・成蹊大学・武蔵野市役所

主催: 武蔵野市 (協力: 武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会)

## 目 次

【はじめに】	1
【事業報告】	2
■企画A「この違和感はなんだろう ～わたしの「ちょうどいい」を探して～」 ジェーン・スーさん	2
■企画B「くらしの中のフェミニズム」 清水 晶子さん	6
■企画C 映画上映会&トークイベント 『バレンタイン一揆』に見る女の子たちの挑戦と子どもの権利 (企画・運営 フェアトレードむさしの)	8
■企画D 映画上映会&対話型ワークショップ 映画『片袖の魚』上映会&対話型ワークショップ「ともに生きるなかで」 (企画・運営 lag)	10
■男女共同参画フォーラムパネル展	12
■各事業チラシ	15
■活動の記録	20
■資料	
企画募集チラシ	22
■企画運営委員と参加団体	24

## はじめに

武蔵野市男女共同参画フォーラムは、男女平等の意識啓発を目的として、男女共同参画週間（毎年6月23日～29日）に合わせて実施する男女共同参画週間事業です。武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会との協働により企画・運営を行っています。

今年度は「むさしのからジェンダー平等を」をテーマとして、令和6年6月14日～30日の期間で実施しました。

コラムニスト・ラジオパーソナリティーのジェーン・スーさんによる、「この違和感は何だろう～わたしの『ちょうどいい』を探して～」と題する講演のほか、東京大学大学院総合文化研究科教授の清水晶子さんには「くらしの中のフェミニズム」をテーマにお話いただきました。

そのほかにも、団体公募企画として、「フェアトレードむさしの」の企画運営による「映画『バレンタインー揆』に見る女の子たちの挑戦と子どもの権利」や、「lag」の企画運営による「映画『片袖の魚』上映会&対話型ワークショップ『ともに生きるなかで』」など、それぞれの団体が特色ある企画を実施しました。

期間中は延べ362名の方が講座等に参加したほか、男女平等推進登録団体によるパネル展も行い、広く男女平等の意識啓発をすることができたのではないかと思います。

「武蔵野市第五次男女平等推進計画」では、計画の目指す将来像として、「すべての人が、互いに人権を尊重し、性別等にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮して、生涯にわたり、いきいきと暮らせるまち」を掲げています。この将来像の実現に向けて今後も男女共同参画フォーラムをはじめ、さまざまな取り組みを行ってまいります。

最後になりますが、今回の男女共同参画フォーラムを実施するにあたり、多大なご協力をいただいた団体の皆様、市民の皆様ならびに関係者の皆様に心より感謝いたします。

武蔵野市 男女平等推進担当課長  
向田 恒彦

## 【企画 A】

講演会「この違和感はなんだろう ～わたしの「ちょうどいい」を探して～」

講師 ジェーン・スー （コラムニスト、ラジオパーソナリティー）

日時：令和6年6月22日（土）午後2時から4時

14:00 ジェーン・スーさん講演

15:30 質疑応答

15:55 市長あいさつ

会場：武蔵野スイングホール

参加人数：225名（会場130名、Zoomウェビナー95名）

託児利用：3名



## 【内容】

### ◆ 違和感と自信の関係

- 自信とは、うまくいったり、いかなかったりするけれど、それでも私は上出来だと自己受容している態度＝「ちょうどいい」と感じる事  
⇒自己受容なしに違和感の正体はつきとめられない

### ◆ 違和感を居場所から考える

- 「居場所」ってどんなところ  
心を休めたり、活躍したりできる環境。そこにいても良いと感じられるところ。
  - 違和感なく「私の居場所」だと感じるためには  
＝安心・安全・受容
    - ・必要とされている存在だと思える
    - ・誰かの役にたっている実感がある
    - ・他の人と大差なく暮らせる
    - ・他者と共有できる公のものが多い
- ⇒自己受容が第一歩。自己受容していない人を他者が受容するのは困難。

➤ 違和感と居場所の関係

居場所を作るために誰かの役に立つことを最優先すると、私らしさから離れることもある＝違和感

◆ 自己受容＝ちょうどいいに不可欠な事

「自分」と「居場所」のアップデート

➤ 20歳の時に思い描いていた未来「普通」と現実異なるが不幸？

私はこれで問題ない＝違和感なし＝自己受容（意識のアップデートが必要）

⇒「私らしさ」を受容しないと違和感を持っても自罰的になり更新できない

◆ 「普通」はどう作られたか

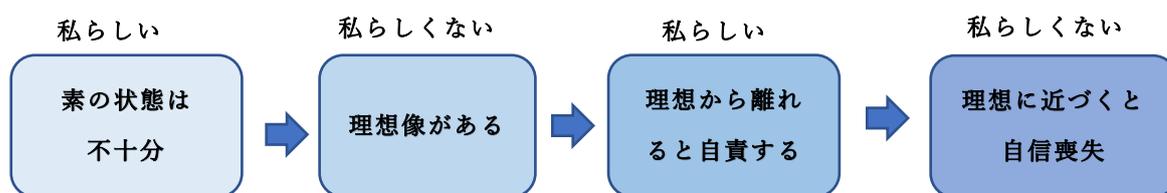
誰がそれを「普通」と決めたのか

➤ はじめて触れる女性の伝記から「女性としてのあるべき規範」として私たちが受け取るメッセージ＝ケア労働、無償の愛、自己犠牲、忍耐、努力、克服

⇒異なる視点で描かれていたら、「普通」の概念はまるっきり変わっていたかも

◆ なぜ違和感を持っても解消できないのか？

➤ 自己受容が無理すぎるシステム



➤ インポスター症候群

自分の能力を認められない症状（女性やマイノリティに多い）

◆ 女らしさの落とし穴

女らしくあることで失うもの

➤ 女らしいと自己決定権を失う

「女らしさ」＝従属的、主体性がない、受動的

⇒「女は強い」は「我慢強い」、「女は楽でいいよな」は「権限が少ない」の裏返し

➤ 男女がキッチリ分けられた世界

我々の悩みは背中合わせ。男には「男らしさ」の呪いがある

➤ そもそも男女がキッチリ分かれている世界ではない

あらかじめ「居場所」が「性別」と「役割」で固定された社会  
＝誰にとってもちょうどいいわけがない

➤ 新しい価値観は新しいテクノロジーに宿る

◆ ちょうどいい、のを見つけ方

探してみつけるものではなく、自分を受け入れて肯定することから生まれる

➤ 重要ポイント

- ・幸せのかたちを他者に決めさせない
- ・他者の幸せのかたちを勝手に決めない
- ・選択肢が複数ある社会にする

- ・「普通」にまどわされない
- 改めて「普通」とは
  - 時代によってカタチを変えていくもの、人によって異なるもの、ある程度の幸せを約束してくれる万人に共通したものではない
- 「私は私らしくて OK」の練習
  - 「べき」は外から刷り込まれたものだとすることを忘れない
  - ・ NO という練習
  - ・ 断罪しない練習
  - ・ 失敗しても気にしない練習
  - ・ できると信じる練習
  - ・ 変わることを恐れない練習
  - ・ 未来を怖がらない練習
- 自分のために「私は私らしく」
  - ・ 自分を知る事（内的洞察）
  - ・ 時代と社会の変化を感じ取る事（外的洞察）
  - ・ 自分の快適な居場所を作ることが他者の快適な居場所を作ることにつながる

### 【参加者の感想】

- 私自身、親の望む人生を生きたほうがいいのかとそうしてきたので、スーさんの生き方にハッとさせられました。私も自分のしたいようにすれば良かったのかもしれない。とはいえ人生 100 年時代、これからでも遅くないですよ。笑いもあり、本当に講演聞けて良かったです！ありがとうございました。本当に、時代（制度）の移り変わりによって、変わってきていることを感じるこの頃で、今の職業である住宅設計の観点からも、これからも考察、表現していけたらいいなと感じました。大変参考になりました。ありがとうございました!!（40代）
- 自己受容と快適な居場所、女らしさの呪いのお話にハッとさせられました。自分自身では呪縛から逃れて自分らしく生きようとしていても、まだまだ社会では役割を強要されていると感じます。私自身も管理職ですが、男性の上司に仕事での成果を横取りされたり、女性的な接待を期待されたり嫌な思いをたくさんしてきました。自分らしく生きることによって社会的な不利益を受けることとどう折り合いをつけていくのか考えさせられました。みんなで価値観をアップデートしていけたらいいなと思いつつ、スーさんもそのために毎週全国で講演していただいているのかなと思いました。本当に頭が下がります。ジェーン・スーさんのお話はわかりやすく、頭の中でモヤモヤしていたことを言語化していただきました。スーさんのお洋服とピンクのハイヒール素敵でした！貴重な機会をありがとうございました。（30代）
- 生きづらさの原因が周囲から押し付けられた「普通」と本来の自分のギャップにあるというところになるほどなと思いました。自分自身の価値観をしっかり持って、要不要の判断がきっちり出来ることが生きやすさにつながると思うので、自分の本当の気持ちを無視せ

ず、現状の職場や家庭等とバランスを取りながら、私にとっての「ちょうどいい」を探していきたいと思います。個人的に、大好きで尊敬するジェーン・スーさんを講師にお招きいただいて本当にありがとうございました。(40代)

- いつもラジオやポッドキャストで聴いているスーさんのお話を1時間半まとめてしっかり聴けるとてもありがたい機会でした。スーさんが出ているメディアや著書で私自身はだいぶ自己受容ができていくように感じています。その一方で、未だ社会に根強く残っている価値観や性役割とのギャップが息苦しいこともあり、社会の空気感を変えるのは今回のような講演会などで市民レベルから取り組んでいくことと、政治や行政からの働きかけがあることの両輪が揃っていることが必須だと思います。リベラルな武蔵野市に期待しています。(40代)
- 男らしさ女らしさをあまり意識したことがなく、もしかしたらこれから社会に出たら感じることもあるのかなと思いました。うまく自分の快適な場所を見つけていきたいです。(20代)
- 参加者が年齢層高めのご婦人ばかりで居心地が悪かった (30代)
- 無意識におこなっていた行動を、一歩立ち止まって見直したいと思いました。過去の変えられない事や、起きていない不安を考えるのもやめたいと思いました。(40代)
- 違和感があっても誰もが当たり前だとして気に留めないような環境にいる現状について理解できました。違和感をなくすために内的洞察、外的洞察もよく言われているけどなかなか実践することは難しいと思っていましたが、ジェーン・スーさんの話で前向きに考えることができました。(40代)
- Zoom でウェビナーに参加しましたが、パワーポイントの画面が大きくてスーさんの話している画面がとても小さかったのが、残念だった。(60代)
- 最後のほうの「NO という練習」「断罪しない練習」をするというのが具体的で響きました。(30代)
- 今回は少人数でしたのでスーさんの話がダイレクトに聞いて大変貴重な時間でした。多様性の時代をどこまで許容・理解していくか？なかなか難しい問題で「普通て何？」の答えは簡単には出そうもありません (50代)
- 夫婦で参加したので、今後はこういったテーマを日常的に話し合えるように活かしていきたいと思います。(50代)

## 【企画 B】

### 「くらしの中のフェミニズム」

講師 しみずあきこ 清水晶子 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

日時：令和6年6月16日(日)午後2時から4時

14:00 清水晶子さん講演

15:40 質疑応答

会場：武蔵野プレイス4Fフォーラム

参加人数：52名

託児利用：2名

#### 【内容】

**Part 1**：私たちのどのような経験や感情が、フェミニズムにつながるきっかけとなるのか。それがどのように作用し始める時に、私たちはそれを「フェミニズム」と呼ぶのか

#### ◆ フェミニズムって

- 女性が女性であることによって、差別や抑圧を受ける社会、女性たちの尊厳や安全を軽んじる文化を変革して、女性たちの生の可能性を広げようとする志向や活動、運動の総体

#### ◆ 「個人的なことは政治的なこと」(第二派フェミニズム)

家庭内の労働負担、身体や性にかかわる問題などを、社会や文化の問題、制度や規範の問題として議論

- 個々人がくらしの中で遭遇する違和感、制約、納得のいかなさ、etc..  
⇒制度的、社会的問題として捉え、政治的な議論に載せることで社会や制度の変革の可能性をひらく

#### ◆ 誰のフェミニズムか

フェミニズムは、私たちのくらしが変わることと共に、くらしの中の私たちが変わることも要請する

- 制度の変革はひとりの個人を超えて影響を及ぼす
- 「女性としてのくらし」の経験は、他の女性たちにとっても同じとは限らないし、利害の対立もありうる。「女性としてのくらし」は多様。

**Part 2**：ケアと自立の概念見直しへ

#### ◆ SRHR (Sexual and Reproductive Health and Rights)

- 性と生殖とに関連して、健康を維持する権利を含めた。様々な権利の集合体

#### ◆ 性と生殖能力の管理

- 家父長制と婚姻制度、親族制度の親密な関係  
婚姻を通じた保護と管理：管理から外れれば保護からも外れる



- 国家による管理  
次世代の質と数をコントロールする仕組みとしての婚姻
- ◆ 反ジェンダー運動
  - 94年カイロ 国際人口開発会議  
SRHR (Sexual and Reproductive Health and Rights) 提唱
  - 95年北京 世界女性会議  
ジェンダー平等の取り組みの指針：「北京宣言」、「行動綱領」採択
- ◆ 自立と依存
  - 自立とは「依存」しなくなることではない
  - 「依存」を否認せず「自立」と「依存」の振り分けを考え直す

### 【参加者の感想】

- フェミニズムに関する知識や人生経験を重ねていく中で、漠然とした疑問や自分の考えの立ち位置がぼんやりわかる瞬間があると思います。そんな時に都度考えることを惜しまないような環境に属してたいです。自分の生活の中で実践できるとすれば、気軽に話し合えるような環境を作り、考えることが特別なことではないという感覚を、自分の家族に醸成していくことかと思います。(20代)
- 自分の感じたモヤモヤを声に出すことを実践してみたいです。でも、他の人が同じ思いを抱えているわけではないし、自分の暮らしも変わっていくということを先生がおっしゃっていて、簡単なことではないのだと感じます。どうすれば、一個人の課題をみんなの課題にできるのか、考えてみようと思いました。(30代)
- とにかく「これはおかしい」と思ったことは飲み込まず、発信することの必要性を感じました。また誰かの発信についても個人の問題だからとせず、社会全体の課題ではないかと問うことの必要性を感じた。(60代)
- 本日のお話はとても分かりやすく、フェミニズムの基本的な話を丁寧にして下さった印象です。私的な領域に押し込め公的な議論を避ける操作自体の政治性を指摘、や、「依存」を否認せず「自立」と「依存」の振り分け方を考え直すといった視点は、普遍的に公正さを求める発想で、それも分かりやすいと感じた理由だと思いました。また、質疑応答で、参加者の方々が普段の暮らしの中での差別的な出来事への悩みを質問されているというのも印象的でした。(40代)
- 組織で働く女性としてミソジニーを感じない日はなく声高に意見することでさらなる不利益を生むことはあってもその逆はないという諦念を持ちながらここまで来た。先生のお話を聞き、諦めなかった女性たちのお陰でいまここまで来ていることを改めて認識し、自戒をこめて自分の立場でできることを考え組織に提案していこうと思うに至った。(40代)
- 身近な暮らしの中からと本格的なフェミニズムの歴史を関連づけ、分かりやすく講演していただき、最後心に落ちてくるものがあり、学びになりました。ありがとうございました。(50代)

## 【企画C】

映画『バレンタイン一揆』に見る女の子たちの挑戦と子どもの権利

企画・運営 フェアトレードむさしの

日時：令和6年6月23日（日）午後1時から4時30分

会場：成蹊大学6号館301教室

登壇者：青井彩乃さん（認定NPO法人ACE広報・ファンドレイズマネージャー）

参加人数：57名

### 【プログラム】

12:30 開場※

13:00 オープニング

13:10 映画「バレンタイン一揆」上映64分

14:15 休憩15分※

14:30 トーク：青井彩乃さん（認定NPO法人ACE広報・ファンドレイズマネージャー）

15:00 質疑応答

15:45 クロージング

16:00 ※地域のフェアトレードと地域のサステナビリティ展 交流

16:30 終了

### 【内容】

子供の権利条例を昨年4月に施行し、子どもにやさしいまちづくりを目指す武蔵野市で、今回はチョコレートの生産地であるアフリカのガーナの児童労働の問題とフェアトレードでできることを考えました。

最初にみんなで映画「バレンタイン一揆」を鑑賞。

日本人も大好きなチョコレートの生産地ガーナを訪ねるスタディツアーに参加した高校生と大学生の女の子たちが、初めて知った児童労働の現実に悩みながらも自分たちにできることを考えて、行動するドキュメンタリー映画です。それから10年がたち、近年では気候変動の影響も大きく資金不足で農家の生活は苦しいままですが、児童労働問題はどこまで進んでいるのでしょうか？

鑑賞後は、児童労働の撤廃や予防、子どもの権利保護に10年以上も前から取り組んでいる認定NPO法人ACEの青井さんから、活動と現状の問題などお話しいただき、その後、皆さんからの質問にお答えする形で、たっぷり45分ディスカッションし、一人ひとりの行動が社会を変える力になるフェアトレードの未来について考えました。また、会場内で同時開催していた『地域のフェアトレードとサステナビリティ展』の10団体さんともさらに交流が深まりました。参加者も10代から70代まで幅広い年代層が参加いただき、またボランティアでも高校生や大学生がいきいきと積極的に活動してくれる姿が見られました。

### 【参加者の感想】

- 同年代の学生たちがガーナの生産地で衝撃を受けて日本帰国後に奮闘する姿が刺激的だった。フェアトレードの認知度が映画の中で（10年前）低くて驚いたがその点今はある程度認知度が上がっているのかなと思います。それでもフェアトレード商品を積極的に購入することにつな

がらない点が今後の課題になっていくと思いました。(10代女性)

- 若い世代の人がガーナに行ったり、プロジェクトを実行したりしている姿が映画の中で見られて、リアルに感じられた。ガーナと日本での「将来の夢」の重みや理由の違いにはそれぞれの国での環境の差が要因になっていると感じた。トークでは日本の企業での取り組みも知ることができてよかった。(10代)
- 児童労働が問題だというのが、映画を見て、このような問題は実際に存在するのだと認識できた時間となりました。(20代女性)
- 貴重な機会をありがとうございました。学校に通い始めて表情が明るくなっていくことが教育の重要性の一番の説得になるというお話が印象に残りました。(20代女性)
- こうしたイベントが普段話すきっかけのない世代の方と話し、特に若い方の関心の高さと行動力、そして若い方たちこそ「子どもたちのために」という意識が強く、先に生きてきた世代の我々は何をしてきたのかと自責の念にかられる。だからこそ、若い人たちが世界に希望を持って生きていきたいと思える社会と姿を私たち大人はみせていかなければいけないし、世代を問わず力を合わせて社会を変えていきたいと強く強く思い直しました。(40代女性)
- フェアトレードをある程度理解していても、エシカル消費を続けていくことは難しいなと思っています(否定じゃないです)。一番の課題は自分の購買力のなさですが、商品を買えるところが少なかったり、選択肢やバリエーションが少なかったり。(40代女性)
- ACEの会員です。本日は職場でイベントが開催されるということで参加いたしました。青井さんのお話は大変分かりやすく、よく理解できました。本校でも出前授業をしていただけたら嬉しいです。READY FORの目標達成ももう少しですね。微力ながら寄付をさせていただきました。アニダソチョコレートの到着も楽しみです。本日はありがとうございました。(50代女性)
- チョコレートの原料であるカカオ豆同様に日本の企業が地元の子どもの貧困に加担しているケースが多々あること、この映画を見て思いました。サステナビリティ展に関しては成蹊大学のサステナビリティ教育研究センターやけやきプロジェクトが地域の活動の協働先ということで興味を持って拝見しました。(70代)



## 【企画D】

映画『片袖の魚』上映会と対話型ワークショップ「ともに生きるなかで」

企画・運営 lag

日時：令和6年6月30日（日）午後2時から4時

会場：武蔵野プレイス4Fフォーラム

参加人数：30名

託児人数：1名

## 【プログラム】

- 14:00 開会、lagの紹介、グラウンドルールの説明
- 14:20 映画『片袖の魚』上映
- 15:05 休憩
- 15:20 対話のワークショップ「ともに生きるなかで」
- 15:55 閉会

## 【内容】

上映会開催の意図やlagの団体紹介、グラウンドルール説明の後、LGBTQ+、特にトランスジェンダー当事者の日常をテーマにした映画『片袖の魚』の上映を行った。その後、参加者が映画を観て感じたこと、印象的だった場面やキーワード、気になった登場人物とその理由などについて、準備していたワークシートや色ペン、折り紙など多様なツールおよび方法を用いて感想の交流を行った。

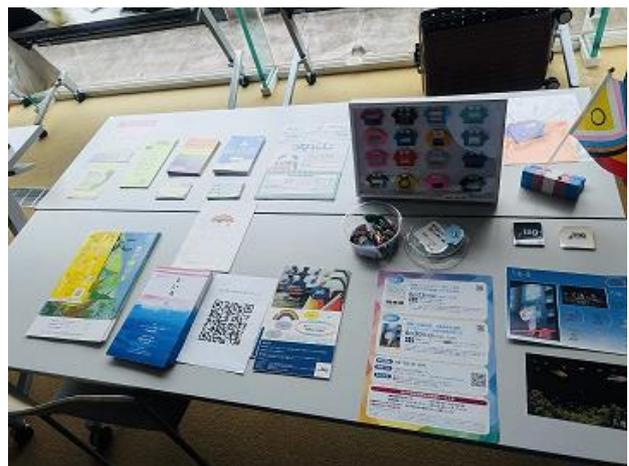
アンケート結果からは、参加者の95%の以上の方が「大変よい」「よい」と回答し、映画とグループワークの感想ともにおおむね肯定的な感想を得られた。

## 【参加者の感想】

- 自分の中で気づかない、他人への理解のない対応があるかもしれないと思った。(60代)
- グラウンドルールの説明が丁寧にあったのは素晴らしいと思った。大事なことだと思うので、さらっと最初に言及するだけでなく、再度説明されていて良かった。(20代)
- 今回こうして多くの人とそのトピックについて話すことができ良かった。今後もこのようなことについて話していくきっかけになった。自分の今後の活動について考えていきたい。(10代)
- 安心安全を感じられる場で良かったです。上映鑑賞+ワークショップ=2時間というシンプルな構成が良かったです。
- 非常に考えさせられる内容でした。普段の言動を見直したいと思いました。(30代)
- 鑑賞後に感想を言い合うことで集中して観られるので率直に思いを語り合えるので映画+対話のワークショップという形は僕は好きです。グループワークではファシリテーターの方のファシリテーションも丁寧でとても話しやすい雰囲気を作ってくださっていたと思います。この

ような感じのワークショップを積み重ねて行って欲しいなと思いました。(40代)

- ワークショップが、自由に話せて良かった。(70代以上)
- 支援者の立場として参加しています。どうやってアライを増やしていくか、今日の映画での周囲の人々の態度がまだまだなので、良い方法を模索していきます。
- 知らないでいるよりも、とにかく知っていることが重要だと思いました。決めつけや枠に当てはめることはしない！と心に誓いました。(50代)
- 非常に良い映画でした。しんどいと感じてしまう場面も多くあったので、事前にその旨お知らせがあるとより心の準備ができたと思います。ずっと観たかった映画だったので、貴重なイベントを本当にありがとうございました。グループ内でルール①(見た目や声、受けた印象から性別や性のあり方の決めつけや、詮索をしない)を破ってしまっている言動があり、安全ではないように感じてしまいました。制止していただき良かったです。グループで話したことを全体に向けて最後発表するのは事前に同意が欲しかったです。以前全く別のイベントで同様のシチュエーションがありプライバシーが守られていないことがあったのでヒヤヒヤしてしまいました。(20代)
- 幅広い年代のいろいろな方のご意見を聞くことができとても良かったです。LGBTQ+に特に興味がある方だけでなく、物語を通して自分事として考えるというのは良かったと思います。(40代) 映画はシンプルでとてもわかりやすいと思った。
- ワークショップの進め方が少々？グループコーディネーターがもう少しリーダーシップをとって進めてくれると良かった (60代)
- 見た目で性別呼称を使わない訓練をするように努力します。自身が人間的にアップデートできた(これからですが) 実感を得られました。(70代以上)
- 当事者の問題というより、私の問題(私がどうするのか)なのではないかと思った。(70代以上)
- 映画を観たことのない人にもおススメしたいです。(20代)
- 自分の言動をもう一度考えていきたいと思いました。(考えて行動・言動)(40代)



## 【男女平等推進団体活動紹介 パネル展】

### 1 武蔵野市役所ロビー

(1)日時 令和6年6月14日（金）から6月19日（水）

(2)出展 6団体

- ・ むさしの男女平等推進市民協議会
- ・ なないろのおと
- ・ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～
- ・ フェアトレードむさしの
- ・ むさしのジェンダー問題を考える会
- ・ lag

### 2 武蔵野プレイス ギャラリー

(1)日時 令和6年6月21日（金）から6月27日（木）

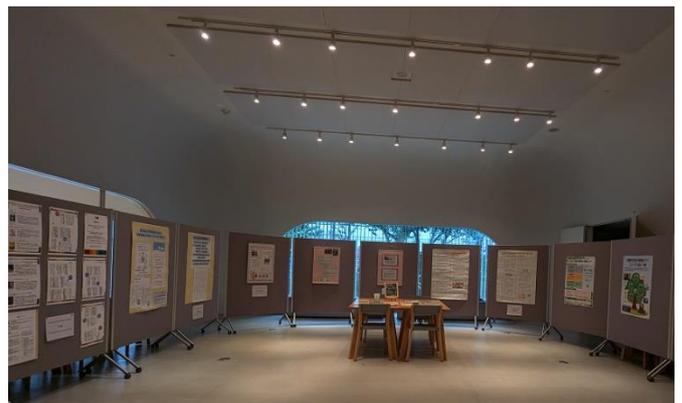
(2)出展 5団体

- ・ むさしの男女平等推進市民協議会
- ・ なないろのおと
- ・ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～
- ・ むさしのジェンダー問題を考える会
- ・ lag

### 3 展示の様子



市役所 ロビー

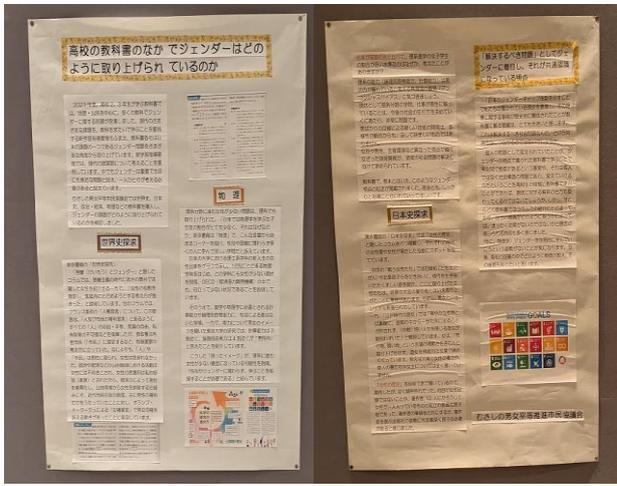


武蔵野プレイス ギャラリー

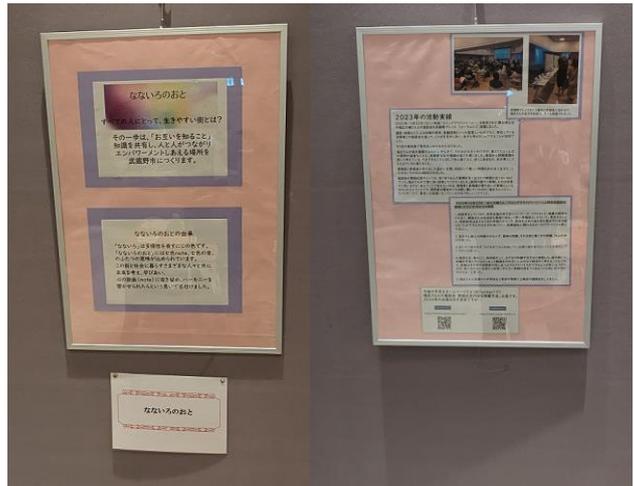


男女共同参画フォーラムの紹介

センターの紹介



むさしの男女平等推進市民協議会



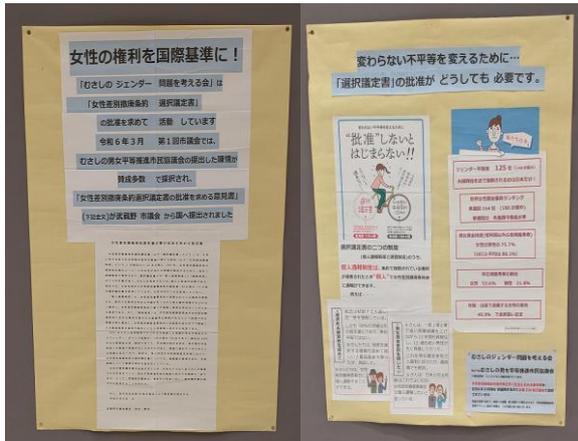
なないろのおと



にじいろじかん  
～ライフスキルを育む性教育～



フェアトレード  
むさしの



むさしのジェンダー問題を考える会



lag



来場者の感想

# 武蔵野市男女共同参画フォーラム2024

## むさしのからジェンダー平等を

### 企画 A



## この違和感はなんだろう

～わたしの「ちょうどいい」を探して～

6月22日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)

会場 武蔵野スイングホールまたは  
オンライン (Zoom ウェビナー)



定員 会場140名(申込順) オンライン140名(申込順) 会場参加申込み

申込開始 市内在住・在勤・在学 …… 5月15日 9時  
それ以外の方 …… 5月22日 9時



保育定員 6名 (満1歳以上学齢前まで) 保育締切: 6月5日(水)

オンライン参加申込み

「うまく言えないけどなんか違う」「思い返すたびに釈然としない」... そんなあなたの気持ちに対する「ちょうどいい」はなんでしょうか? 多くの人へ沁みる言葉を届けてきた講師から、そのヒントを教わりましょう。

ジェーン・スーさん コラムニスト・ラジオパーソナリティー

1973年東京生まれの日本人。

TBS ラジオ『ジェーン・スー 生活は踊る』のメインパーソナリティーを担当。ポッドキャスト「ジェーン・スーと堀井美香の OVER THE SUN」が、「JAPAN PODCAST AWARDS 2020 supported by FALCON」にて、「ベストパーソナリティー賞」と、「リスナーズチョイス」をW受賞。『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』（幻冬舎）で、講談社エッセイ賞を受賞。近著に『闘いの庭 咲く女 彼女がそこにいる理由』（文芸春秋社）ほか著書多数

### 企画 B



## くらしの中のフェミニズム

6月16日(日) 14:00～16:00 (開場13:30)

会場 武蔵野プレイス4F フォーラム



定員 70名 (申込順)

保育定員 3名 (満1歳以上学齢前まで) 保育締切: 6月5日(水)

申込み

私たちのくらしを見回すと、おかしな制度・文化などの身近な制約に気付かされます。女性がもっと自由に考え動くために、いまあらためて、フェミニズムの可能性を探ります。

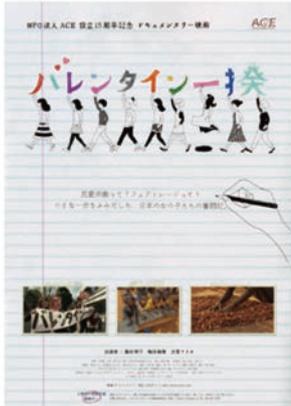
清水晶子 (しみずあきこ) さん 東京大学大学院 総合文化研究科 教授

東京大学大学院総合文化研究科教授、東京大学教養学部教養教育高度化機構 D&I 部門長。専門はフェミニズム/クィア理論。主な著書に『フェミニズムってなんですか?』（文春新書）、『ポリティカル・コレクティブからどこへ』（共著、有斐閣）、『読むことのクィア——続愛の技法』（共著、中央大学出版部）など

主催：武蔵野市 協力：武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会

## 企画 C

企画運営：フェアトレードむさしの



(C) 2012 特定非営利活動法人 ACE

### 映画『バレンタイン一揆』に見る 女の子たちの挑戦と子どもの権利

6月23日(日) 13:00~16:30

会場 成蹊大学 6号館 301 教室

定員 70名 (申込順) 子ども同伴可

映画「バレンタイン一揆」は、チョコレートの裏側に隠された児童労働の現実に挑む日本の女の子たちのドキュメンタリー。上映後、一人ひとりの行動が社会を変える力になるフェアトレードの未来について語るトークイベントを開催します。地域のフェアトレードとサステナビリティ展も同時開催。



申込み

## 企画 D

企画運営：lag



©みのむしフィルム

### 映画『片袖の魚』上映会&対話型 ワークショップ「ともに生きるなかで」

6月30日(日) 14:00~16:00

会場 武蔵野プレイス4F フォーラム **保育定員** 3名 (満1歳以上学齢前まで)

定員 40名 (申込順)

保育締切：6月19日(水)

LGBTQ+、性的マイノリティの人々が地域で、すぐ隣で一緒に日々を過ごしていることはあまり知られていないかもしれません。トランスジェンダー当事者の日常を描いた映画の上映会と、日常のなかで感じる生きづらさや背景にある社会のあり方をともに感じ考える対話のワークショップを開催します。



申込み

**申込開始** 5月15日(水) 9:00

**問合せ先** 武蔵野市立男女平等推進センター

☎: 0422-37-3410 E-MAIL: danjo@city.musashino.lg.jp

**申込方法**

- 申込みフォーム、電話(0422-37-3410)で受付します。(申込順)
- 保育をご希望の方は、各企画の保育締切日までに、お申込みください。定員を超えた場合は、抽選となります。(市民優先)



センター HP

## 男女平等推進団体活動紹介パネル展

- 武蔵野市役所ロビー 6月14日(金)~6月19日(水)
- 武蔵野プレイス1F ギャラリー 6月21日(金)~6月27日(木)

武蔵野市ではさまざまな団体が、男女平等社会の実現に向けて活動しています。

### 武蔵野市男女平等推進団体

むさしの男女平等推進市民協議会、(一社)日本女子大学教育文化振興桜楓会、HBB(エイチビービー) (Happy and Boon Buddy)、かたらいの会、境おやこひろば、生活クラブ グループ創、作るうみんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ、東京女子大学同窓会幼児グループ卒園父母の会、なないろのおと、にじいろじかん~ライフスキルを育む性教育、日本の歴史と教育を考える会、パシイワ武蔵野グループ、フェアトレードむさしの、まめっちょ、武蔵野クラブ、むさしのジェンダー問題を考える会、モヤモヤトークサロン、ゆう<sup>3</sup> (ゆうスリー)、lag、らっこの会 (令和6年3月末日現在)

武蔵野市男女共同参画フォーラム 2024団体企画



「むさしのから、ジェンダー平等を」



# 映画「バレンタインコー揆」に見る 女の子たちの挑戦と子どもの権利



児童労働とは？

フェアトレードとはなんだろう？

チョコレートの裏側に隠されたドキュメンタリー映画を鑑賞後、  
トークイベントを開催します。



## 2024年6月23日(日)

### 13:00~16:30(開場12:30~)

会場:成蹊大学6号館 301教室

参加費:無料 定員70名

<同時開催>

開場12:30~ 地域のフェアトレードとサステナビリティ展

アクセス:吉祥寺駅から徒歩15分吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より関東バス約5分『成蹊学園前』下車

5/15申込開始!!

<申込み・問合せ先>

武蔵野市立男女平等推進センター ☎:0422-37-3410

申込方法 5/15(水)から、市ホームページ、電話で受付ます。(申込み順)



申込 QR コード

主催/武蔵野市

企画運営/フェアトレードむさしの

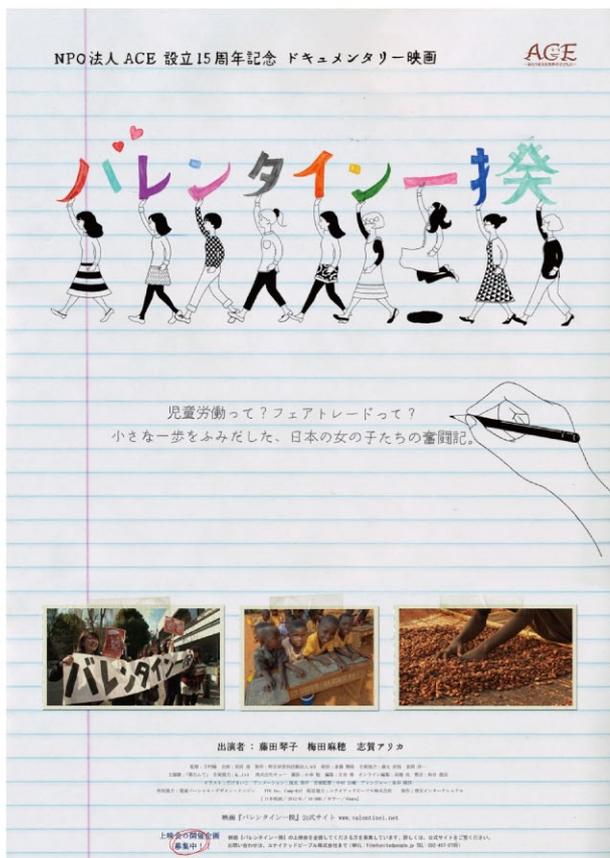
内容に関する問い合わせ/<https://fairtrade-musashino.tokyo/inquiry/>

協力/成蹊学園サステナビリティ教育研究センター<sup>17</sup>



イラストデザイン/小野正統

# 映画「バレンタイン一揆」に見る女の子たちの挑戦と子どもの権利



## スケジュール

- 12:30 開場  
※地域のフェアトレードとサステナビリティ展
- 13:00 オープニング
- 13:10 映画「バレンタイン一揆」上映時間64分
- 14:15 休憩  
※地域のフェアトレードとサステナビリティ展
- 14:30 トーク 認定NPO法人ACE(エース) 青井彩乃さん
- 15:00 質疑応答
- 15:45 クロージング
- 16:00 交流  
※地域のフェアトレードとサステナビリティ展
- 16:30 終了



認定NPO法人ACE(エース)  
広報・ファンドレイズマネージャー  
青井 彩乃さん



ACE(エース)は、子どもたちの自由と尊厳が輝く可能性に満ちた世界を実現するために、児童労働の撤廃・予防や子どもの権利保護に取り組むNGOです。1997年の「児童労働に反対するグローバルマーチ」をきっかけに日本で創設しました。ガーナのカカオ生産地で危険な労働から子どもたちを守る活動を行いながら、児童労働を生まない社会構造をつくるために企業や政府とも協働しています。近年は日本での子どもの権利の普及にも取り組んでいます。

<同時開催> 12:30, 14:15, 16:00

## 地域のフェアトレードとサステナビリティ展

地域でフェアトレードを推進する団体や企業・学校等の活動や  
取り組みが大集合!!ブース出展、交流もあります。

武蔵野市をフェアトレードタウンに



フェアトレード  
むさしの



フェアトレードむさしののHP

## 映画『片袖の魚』上映会と対話型ワークショップ 「ともに生きるなかで」

参加無料



インヅカユウ  
原田知美、池田忠雄、森本あゆみ、渡部ともし、入江雅也、朝比奈あかり、西條康、橋本真実、遠藤幸平、小嶋悠、宇野重吉、久野美穂、藤原さくら、山口まゆ、田村泰次郎、近江里子  
原案：文月藍光『片袖の魚』、『あなたに会うまで』(ナタリノ集)  
脚本・監督：東原雅雄  
撮影：村松隆 照明：大田裕志 録音：高橋隆之 音楽：中島裕 編集：朝原由紀 衣装：藤田由(DEX) ヘアメイク：尾形彩乃 助監督：小嶋寛 構成：鎌倉雄介/生丸亮  
音楽：久保純 音楽制作：lag 制作：amembaownd.com 制作・配給：みのむしフィルム (2024) 日本/35分/18+/SDH/STEREO/カラー/DCP ©2024 みのむしフィルム

©みのむしフィルム

### 映画『片袖の魚』ストーリー

トランスジェンダー女性の新谷ひかり(インヅカユウ)は、ときに周囲の人々とのあいだに言いようのない壁を感じながらも、友人で同じくトランス女性の千秋(広畑りか)をはじめ上司である中山(原日出子)や同僚の辻(猪狩ともか)ら理解者に恵まれ、会社員として働きながら東京で一人暮らしをしている。ある日、出張で故郷の街へと出向くことが決まる。ふとよぎる過去の記憶。ひかりは、高校時代に同級生だった久田敬(黒住尚生)に、いまの自分の姿を見てほしいと考え、勇気をふり絞って連絡をするのだが――トランスジェンダーのささやかながらも確かな一歩を刻む34分

(映画『片袖の魚』より)

主催：武蔵野市

企画運営：lag

武蔵野市でLGBTQ+、性的マイノリティ当事者と理解者のセーフスペースをめざした居場所づくりをしています。  
lag-dialog.amebaownd.com

LGBTQ+に関するニュースがよく見られるようになりました  
地域で、すぐ隣で一緒に生きていることは、あまり知られていないかもしれません  
トランスジェンダー当事者の日常を描いた映画の上映会と、日常の中で感じる生きづらさや背景にある社会のあり方とともに感じ考える、対話型のワークショップを開催します

日時： 6月30日(日)  
14時～16時 (13:45開場)

- 会場 武蔵野プレイス4階フォーラム
- 対象 性の多様性に理解、関心のある方  
(武蔵野市在住・在勤・在学・在活動の方優先)
- 定員 40名(申込順)
- 保育定員 3名(満1歳以上学齢前まで)  
保育締切: 6月19日(水)  
\*定員を超えた場合は抽選

■申込方法 5月15日(水)9:00～  
以下の申込フォーム、または電話(申込順)  
電話番号: 0422-37-3410



申込フォーム

申込フォームは  
こちら

## 【活動の記録】

### ■令和5年度第2回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和5年8月28日(月) 午後1時から3時

出席：9名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・フォーラム2024のメインテーマについて意見出し

### ■令和5年度第3回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和5年9月28日(月) 午前10時から正午

出席：11名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・フォーラム2024のメインテーマ、キーワード、形式、講師などについて意見出し

### ■令和5年度第4回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和5年10月30日(月) 午前10時から正午

出席：10名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・フォーラム2024のメインテーマについて意見出し、講師について絞り込み

◇団体企画の募集を開始（市報11月15日号掲載）

募集期間 令和5年11月15日(水)から令和5年12月25日(月)

### ■令和5年度第5回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和5年11月27日(月) 午前10時から正午

出席：10名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・フォーラム2024のメインテーマを「むさしのからジェンダー平等を」に決定
- ・企画Aの講師は「ジェーン・スー」さんに決定。タイトルについて検討
- ・企画Bの講師候補「清水晶子」さんに決定。内容とタイトルについて検討

### ■令和5年度第6回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和5年12月25日(月) 午前10時から正午

出席：9名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・チラシのレイアウトを検討

◇企画募集審査会

日時：令和6年1月16日(火) 午前9時から午後1時

■令和5年度第7回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和6年1月29日(月) 午前10時から正午

出席：9名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・チラシのレイアウト、リード文を検討
- ・団体企画公募審査結果について報告（2件採択）

■令和5年度第8回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和6年2月16日(金) 午後1時30分から3時30分

出席：9名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・チラシのリード文を検討
- ・企画団体から内容説明（フェアトレードむさしの、lag）

■令和5年度第9回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和6年3月25日(月) 午前10時から正午

出席：8名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・納品されたチラシ・ポスターのデザイン案を報告

◇フォーラム各企画申込受付を開始（市報5月15日号掲載）

■令和6年度第1回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和6年5月27日(月) 午前10時から正午

出席：9名

＜確認事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・主催イベント（講演会、講座）における役割分担を決定
- ・パネル配置について確認

◇令和6年6月14日(金)～6月30日(日)

武蔵野市男女共同参画フォーラム2024実施

■令和6年度第2回男女平等推進センター企画運営委員会

日時：令和6年7月5日(金) 午前10時から正午

出席：9名

＜検討事項（フォーラム関連のみ）＞

- ・フォーラム2024振り返り

＜武蔵野市男女共同参画フォーラム2024＞

# 企画募集！

武蔵野市男女共同参画フォーラムは、“誰もが自分らしい生き方のできるまち”を目指し、さまざまな講座・講演会やパネル展示などを開催する市主催のイベントです。令和6年度の実施にあたり、広く皆様から講座・イベントの企画を募集します。採用された企画は、企画団体に実施を委託します。多くの皆様のご応募・ご参加をお待ちしています。

＜募集要項(一部)＞詳細は裏面と募集要項の完全版も参照し、市ホームページから様式をダウンロードの上、お申してください。当センターでも申請用紙を配布しております。

◆応募資格(以下のすべてに該当することが条件となります。)

- ①主に市内で活動しており、男女共同参画の視点をもって本事業の趣旨に賛同し、事業を企画・実施する団体。
- ②特定の政党やこれに類する政治団体・グループ及び宗教活動や営利活動を主な目的とする団体・グループではないこと。
- ③フォーラム事業実施に関わる連絡会議、報告会等に代表者または会員が出席できること。

◆募集事業

男女共同参画の視点を生かした講演会、イベント、講座・ワークショップ、音楽会など当フォーラムの趣旨に沿ったさまざまな事業。

＜テーマ例＞ワークライフバランスの実現/男性の家事・育児・介護参加/女性の再就職/  
子どもの貧困/多様性を認める社会/性別役割意識の解消など

◆事業実施日 令和6年6月15日(土)～6月30日(日)(予定)のうちいずれか

◆委託料

一団体につき10万円まで(企画実施当日の保育費用含む)  
※事業実施後の後払いになります。

◆応募方法

指定の様式(男女平等推進センター窓口より入手、あるいは市ホームページからダウンロード)に記入し、男女平等推進センターまで郵送/メール、または窓口直接持参。

＜募集期間＞

令和5年11月15日(水)～令和5年12月15日(金)

(※郵送の場合 12/15必着)

受付/問い合わせ

武蔵野市立男女平等推進センター

 ヒューマンあい

受付：9:00～22:00(木曜 休館)

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-3-7 市民会館1階

◇TEL 0422-37-3410

◇Eメール danjo@city.musashino.lg.jp

武蔵野市 男女

検索

センターHPへ→



**<募集要項>**（一部を掲載。詳細は、市ホームページからダウンロードするか、男女平等推進センターにて入手し、内容を確認のうえ、提出してください。）

**◆募集事業**

男女共同参画の視点を生かした講演会、イベント、講座・ワークショップ、音楽会など当フォーラムの趣旨に沿ったさまざまな事業。今年度のテーマについては、ホームページをご覧ください。

**<テーマ例>** ワークライフバランスの実現/男性の家事・育児・介護参加/女性の再就職/子どもの貧困/多様性を認める社会/性別役割意識の解消など

**◆事業実施会場**

武蔵野プレイス、商工会館会議室、男女平等推進センター会議室等。  
※希望会場の空き状況により調整させて頂く場合があります。

**◆実施方法**

オンライン実施も可（但し、オンライン契約料、使用料は団体負担）

**◆その他市からの支援**

- ①施設・付属設備の使用料免除（市内公共施設に限る）
- ②市報 5 月15 日号への掲載及び男女平等推進センターのホームページでの事業周知
- ③フォーラム全体チラシ・ポスターへの掲載、市内公共施設への配布
- ④団体独自のチラシ配布支援(場所：男女平等推進センター・市政センター・コミュニティセンター・図書館・市役所)
- ⑤参加申込みの受付
- ⑥保育申込みの受付及び保育者の手配

**◆応募方法**

指定の様式（男女平等推進センター窓口より入手、あるいはホームページからダウンロード）に記入し、男女平等推進センターまで郵送、メール、または窓口に直接持参。必要に応じて、企画や団体活動等に関する資料の提出を別途お願いする場合があります。

**◆募集期間** 令和 5 年11月15日（水）～ 令和 5 年12月15日（金）  
（※郵送の場合12/15必着）

**◆応募から決定までの流れ**

- ・ 審査会： 令和 6 年1月16日（火）午後。武蔵野総合体育館（予定）  
プレゼンテーション形式で事業内容を紹介して頂きます。  
（10分～15分程度）時間等は、応募者にご連絡します。
- ・ 結果通知： 2月初旬頃、書面にて通知  
※決定については提出書類と審査会プレゼンテーションにおける説明に基づき、企画の公益性や男女共同参画の視点、実施体制等を考慮し総合的に判断します。  
応募書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。



JR三鷹駅：関東バス1番乗り場 → 武蔵野市役所前下車徒歩2分  
JR吉祥寺駅：関東バス1番乗り場 → 武蔵野市役所前下車徒歩2分

## 武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会

役職	名前
委員長	加藤 志歩（むさしの男女平等推進市民協議会）
副委員長	田中 邦忠（公募市民）
委員	市川 順子（作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ）
委員	大久保 力（むさしの男女平等推進市民協議会）
委員	栗原 毅（むさしの男女平等推進市民協議会）
委員	内藤 博子（パシイワ武蔵野グループ）
委員	二子石 薫（むさしの男女平等推進市民協議会）
委員	椿井 綾子（男女平等推進センター職員）
委員	吉田 晴代（男女平等推進センター職員）

（五十音順、敬称略）

### 「男女共同参画フォーラム 2024」参加団体

- ✚ むさしの男女平等推進市民協議会（パネル展示、企画運営委員会）
- ✚ 作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナーシップ（企画運営委員会）
- ✚ なないろのおと（パネル展示）
- ✚ にじいろじかん～ライフスキルを育む性教育～（パネル展示）
- ✚ パシイワ武蔵野グループ（企画運営委員会）
- ✚ フェアトレードむさしの（団体企画、パネル展示）
- ✚ むさしのジェンダー問題を考える会（パネル展示、企画運営委員会）
- ✚ lag（パネル展示）

（五十音順）

## 男女共同参画フォーラム 2024 報告書

発行日 令和6年10月  
発行者 武蔵野市  
連絡先 市民部 市民活動推進課 男女平等推進センター  
武蔵野市境 2-3-7  
電話番号 0422-37-3410